

NOW 市政の動き・自分史

city government now
一宮市政報告新聞
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
9月定例議会
9月2日開会、9月26日閉会



一宮市議会議員
岡本将嗣

9月定例会 開会

9月定例会において、補正予算としては、一般会計では、昨年9月補正で追加措置させていただいております一般単独土木工事費のほか、小学校費と中学校費の各校営繕工事などの工事請負費、平成29年6月に開設が予定されています(仮称)グループホームいずみ第一期棟の建設補助金、介護老人福祉施設などへの施設内保育施設整備や介護ロボット導入支援等の補助金、籠屋保育園に乳児室と駐車場を増設するための用地購入費等、10月1日からの法定接種化に伴うB型肝炎予防接種関連経費を計上いたしました。

そして、平成29年2月に第1回の開催を計画しております、木曾川の水辺空間を活かした賑わい創出を目的とする、ミズベリング

138

会議の関係経費、子どもたちの学びの場所として整備するための旧林家住宅 保存活用計画策定関係の委託料、日本サッカー協会に委託し、小学生がトップアスリート

による授業を体験できる「夢の教室」開催委託料に加え、条例制定もお願いしておりますが、空家等対策協議会設置に際し、その関係経費の計上などが主なものです。

一方、それらの財源としては、7月に算定を終えました普通交付税が見込みを大きく下回る状況で、財政調整基金16億円の取り崩しを計上するなど、大変厳しい編成となりました。



一宮市立市民病院 新病棟建設計画概要

一宮市立市民病院 新病棟概観

また、病院事業会計では、ハイブリッド手術室、緩和ケア病棟などを

備えた新病棟建設にかかる建設工事費と工事監理委託料を平成30年度までの継続事業で計上させていただきます。

9月補正予算規模

その結果、補正予算の規模は、一般会計で16億262万9千円の増額、特別会計・企業会計で7億948万1千円の増額、全会計では、23億1,211万円の増額補正となりました。

次に単行議案の主なものは、「一宮市の議会議員及び長の選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び一宮市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例」の一部改正、「一宮市出張所設置条例」及び「一宮市公民館設置及び監理に関する条例」の一部改正、「一宮市空家等対策協議会条例」の制定、「一宮市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例」の一部改正、水槽付消防ポンプ自動車の売買契約の締結について全て承認・議決いたしました。

なお追加提案されました、小信調整池増設工事(仮設工事)の請負契約の締結、平成27年度一般会計・特別会計決算の認定、任期満

了に伴う教育長及び教育委員会委員の同意案件、辞任に伴う人権擁護委員の推薦諮問案件についても問題なく同意いたしました。

食品ロス削減に向けての取り組みを進める

意見書(案)

食物は世界中の人々にとって大事な、限りある資源である。世界では全人類が生きるのに十分な量の食べ物が生産されているにもかかわらず、その3分の1は廃棄されているとも言われている。中でも、もったいないのは、まだ食べられる状態なのに捨てられてしまう食品ロスである。農林水産省の平成25年度推計によると、日本では年間2,797万トンの食品廃棄物が発生しており、このうちの632万トンが食品ロスとされている。

食品ロスの半分は、事業者の流通・販売の過程の中で起き、もう半分は家庭での食べ残しや賞味期限による廃棄などで発生している。削減には、事業者による取り組みとともに、国民の食品ロスに対する意識啓発の必要性も問われてくる。

よって、国におかれては、地方公共団体、国民、事業者と一体となっ

このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

発行所：岡本将嗣事務所
住所：一宮市真清田1-3-23
連絡先：(0586)24-0767



岡本 将嗣

MASASHI OKAMOTO



HP <http://masashi-okamoto.com>

若さ

スピード

即戦力

て食品ロス削減に向けての取り組みを進めるため、強く要望する。との意見書が提出されました。

食品ロスについて真剣に考える必要があります。飲食店での食品ロス削減に向けて、食べられる分量のメニューや量より質を重視したメニューの充実を推進するとともに、「飲食店で残さず食べる運動」など

好事例を全国に普及啓発するなど、家庭も含めフードバンクや子ども食堂などの取り組みを全国的に拡大し、災害時の対策も合わせて考えるときだと思います。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を、議会運営委員会から提出させていただきました。

各常任委員会の報告。

企画総務委員会

債務負担行為補正の庁舎監理委託料に関し、新庁舎に移転したときから総合監理委託を行っているがこれまでの評価及び旧庁舎での委託契約と比較しての費用削減効果について質疑がありました。

これに対し当局より、旧庁舎においては各種業務ごとの委託契約をしていたが、総合管理ということによって契約を一本にまとめることが出来

ため、契約事務の大幅な軽減により合理化につながった。また、庁舎への常駐監理の実現により、全体を見渡す維持管理が出来ているとの評価。費用削減効果は、個別契約との費用効果は行っていないが、総合監理導入時の試算によると、700万円近くの削減が出来たとの答弁。

福祉健康委員会

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の介護ロボット等導入支援特別事業補助金に関し、介護従事者にとつて、どのような負担が軽くなるのかとの質疑に、介護従事者の負担軽減として、見守り支援ロボットにより夜間要介護者がベッドから起きたかどうか確認できるため巡回の負担が減少する。ロボットスーツは要介護者を車椅子などに移す際に介護従事者の腰への負担を軽減できるとの答弁。

市民病院新病棟建設について、新病棟4階に設置する結核病棟及び感染症病棟は、空調システム・換気・排気システムを含めて他の病棟と行き来することは無いのかとの質疑に対し、結核・感染症病棟にある全ての部屋は陰圧になっているので外に空気が漏れることはない。また、換気に関してもペパフィルタ

ーという特別なフィルターを使い除菌した上で換気するシステムを採用との答弁。がんに関する緩和ケアについては、今現在も一般病棟で行っているが、新病棟の緩和ケア病棟は、がんを治すことを目的とした治療が困難になったり、あるいはその治療を希望しない患者を受け入れる専用の病棟であるとの答弁。

経済教育委員会

新商品開発・新分野開拓事業者奨励賞上金に関し、今年度購入した新商品は、来年度以降も継続して購入するのか、購入した商品を使用した部署が必要と判断すれば、来年度以降も引き続き購入を続け、また、新商品とその開発業者を市のウェブサイトに掲載するなどとして、この制度自体もPRしていくとの答弁。

夢の教室開催委託料に関し、小学校4校の5年生を対象とした理由について、小学5年生と一部中学生を対象に、クラス単位で行うが、当市では中学生の体育の授業を男子と女子が別れて行う場合もあることから除外し、今回初めての取り組みということで、小学校4校の5年生としたとの答弁。トップアスリートとゲームやトークで触れ

合う機会は、こどもの成長にとって大変有意義となる。他の自治体では、主宰者の日本サッカー協会と協定の締結や連携という方法をとるなどして事業を継続されたいとの要望がありました。

建設水道委員会

土木費中、生活関連土木の中でも地元要望が多いこれらの業務委託が大幅に減額になった理由について、道水路管理全体の事業の中で、道水路を一定水準で適切に管理する観点から、緊急性のある修繕を優先するよう見直しをしたためとの答弁。生活関連土木は9月補正予算において地元の要望に応じて増額しているが、今回は減額する一方で歩道橋などの施設修繕等で増額しており、結果的には例年とほぼ同様の額となっている。昨年度と年度ベースで比較すると2億円ほど減

になっているが、地元要望の緊急性、安全性も考慮するとともに、平準化を目的に債務負担行為の限度額を増やすなど、知恵を絞って進めていくとの答弁がありました。以上、各常任委員会での主だった事業計画、並びに付託関係各議案審議でのやり取りをご報告させていただきます。

岡本将嗣のアルバム

左から、9月定例会終了後の、新政会会派・懇親会での一枚であります。議会と行政との両輪で今後も慎重審議に勤めてまいります。子どもと孫、早いもので10ヶ月になろうとしています。翔くんは姪っ子の、「るうなちゃん」を妹のように可愛がってくれます。久しぶりに、ゴルフの練習に熱が入った、しょうくん。練習場では、出てくるボールを簡単に100ヤード超えさせていました。やるね。

